

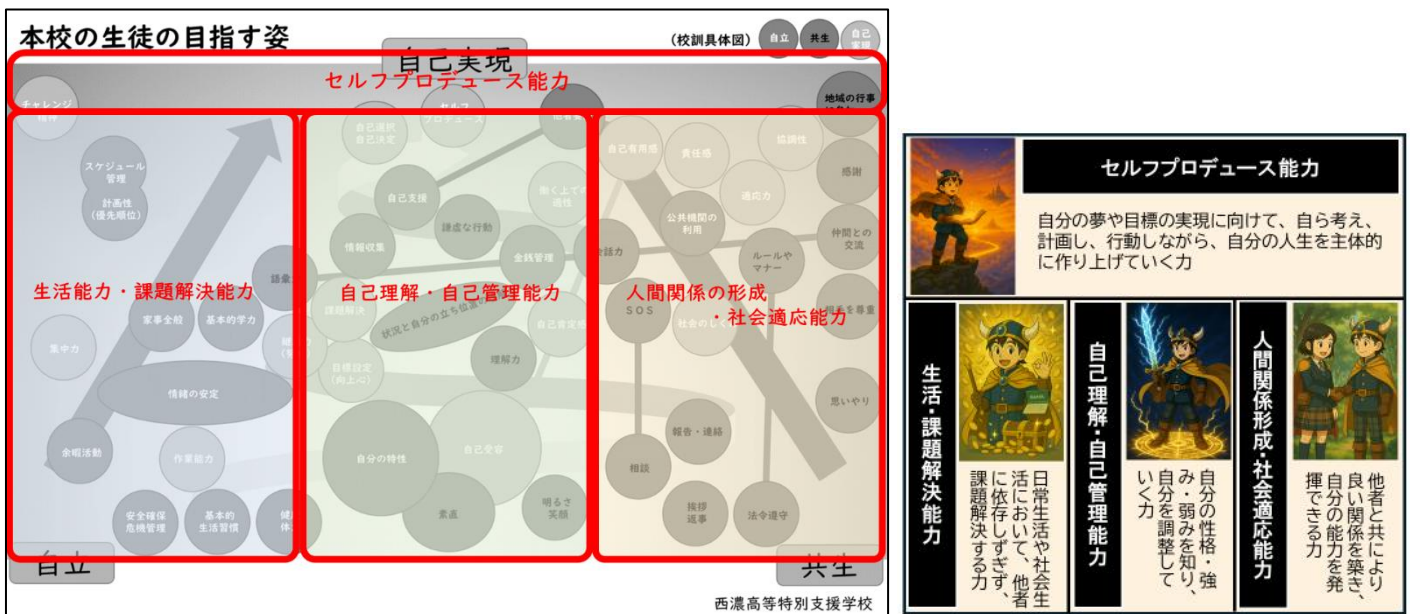
5 セルフプロデュースノート

本校の目指す姿（校訓具体図）を作成したことで、本校が最終的に目指す姿は「生徒が自ら卒業後の自分の人生をセルフプロデュースしていく力を身に付けること」という共通認識を教員間でもつことができました。

そこで、将来、生徒たちが主体的に自分らしくよりよく生きていけるように『セルフプロデュースノート』（西濃高特版キャリアパスポート）を作成していきます。「学ぶこと」と「自分の将来」とのつながりを見通せるように、ノートを活用して自らなりたい姿を描き、その目標達成のための取組を考え、取組を繰り返すことでセルフプロデュース能力を育成していきます。

(1) 本校の基礎的・汎用的能力

セルフプロデュースノート（以下 SP ノート）を作成するにあたり、校訓具体図の項目を文部科学省の「基礎的・汎用的能力」の考え方を元に4つの能力に分類しました。文科省から出されている基礎的・汎用的能力の具体的内容については、「仕事に就くこと」に焦点を当て、実際の行動として表れるという観点から四つの能力に整理していますが、本校は「自己実現」に焦点を当て、本校の実態に合わせて「生活能力・課題解決能力」「自己理解・自己管理能力」「人間関係の形成・社会適応能力」「セルフプロデュース能力」に整理しました。



求める能力	内容
①生活能力・課題解決能力	生活的自立に向け、生活スキル向上、課題解決能力を育成する。
②自己理解・自己管理能力	精神的自立に向け、自己理解、自己管理能力を育成する。
③人間関係形成・社会適応能力	社会的自立に向け、他者との人間関係の形成、社会形成能力を育成する。
セルフプロデュース能力	①～③を活用し、自己実現のためにプランニングしていく能力を育成する。

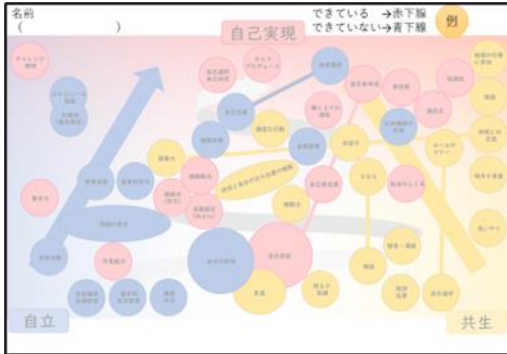
(2) SP ノートの構成

Check  
評価

① 現状分析

校訓具体図・アセスメントシート・チェックシートを活用し、現在の自分の姿を正しく自己評価をします。2・3年は教員・保護者・企業の評価など他者評価も含めて分析します。

(アセスメントシート)



(チェックシート)

Act  
改善

② 目標設定

SP 目標シートを活用し、「10年後の目指す姿」を想像して、今年1年で「目指す姿」を設定します。その「目指す自分の姿」になるために①生活能力・課題解決能力、②自己理解・自己管理能力、③人間関係形成・社会的適応能力のそれぞれに、どの力を伸ばしたいか目標設定し、目標シートに記入します。

(目標シート)

Plan  
計画

③ 取組計画

目標設定を元に、いつどのように実施するか、計画を立て SP 目標シートに記入します。

Do  
実行

④ 取組開始・(文書管理)

計画に沿って1年間実行していきます。「10年後の目指す姿」になるためのヒントとなる教科(単元)などで使用した資料をファイリングしていきます。

Check  
評価

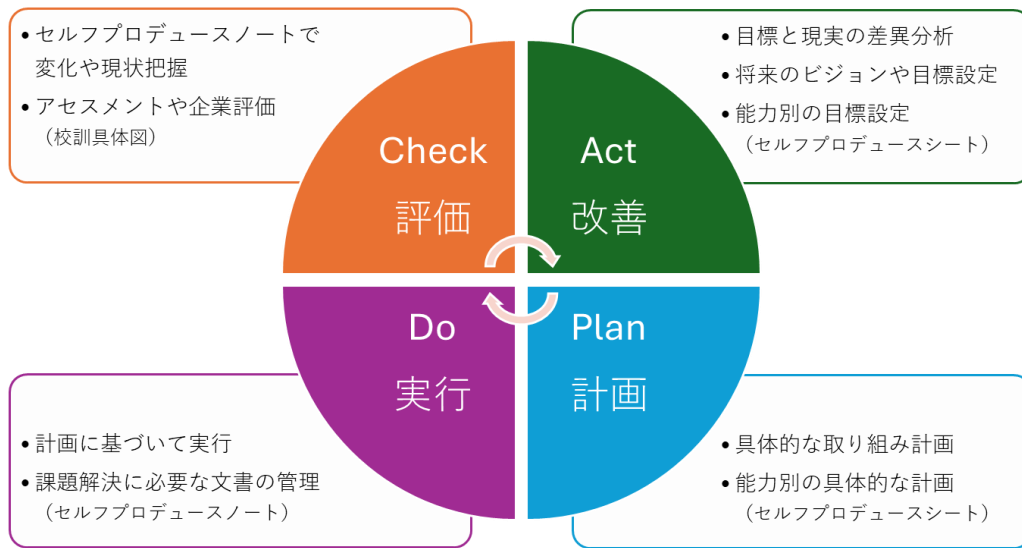
⑤ 1年間の振り返り

SP ノートを見直し1年間を振り返って、自分自身の成長をまとめ、「10年後の目指す姿」になるために、現状分析や次なる目標設定を繰り返します。

(期末振り返りシート)

(学年末振り返りシート)

<SP ノートのサイクル>



(3) SP ノートの流れ

SP ノートは、キャリアパスポートの位置づけですので、まずは中学校までのキャリアパスポートを引き継ぐために、一つのシートにまとめます。今までの自分を振り返ることで自己理解を深め、さらに、本校での目標設定をする際の手掛かりとします。

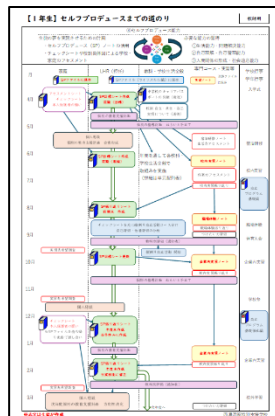
年度初めに生徒自身がなりたい自分の姿を描き、そのためにどのような活動をしていけばいいかを考えます。教員は SP ノートについて、生徒に自分の人生を自分で設計できるようになる事が最終目標という意識を持たせて作成をしていきます。本人が記入した SP 目標シートを元に自己理解を深められるように、担任との対話の中で本人の気づきを促していきます。

SP ノートに記入した生徒の願いを元に、個別の教育支援計画を立て、保護者本人とともに合意形成を図ります。また、そこから個別の指導計画を作成し、年間を通して各教科や学校生活全般で取組みを実施していきます。

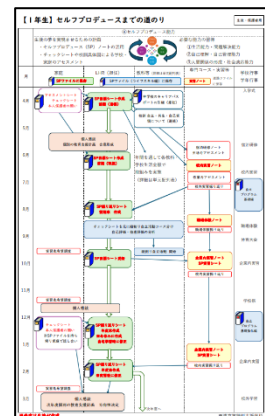
前期末に SP 目標シートで掲げた取組に対し、チェックシートを活用してそれぞれの能力の取組ごとに成果と課題をまとめ、後期の目標設定を行う際の振り返りを行います。振り返りシートを元に、担任との対話の中で後期の目標を設定し、SP 目標シートを更新します。後期の始めにブラッシュアップした SP 目標シートを元に、チェックシートを活用して、それぞれの能力の取組ごとに、成果と課題をまとめ、振り返りを行います。振り返りシートを元に、担任との対話の中で来年度の目標を設定し、次年度の担任に引き継いでいきます。



中学校までのキャリアパスポートのまとめ



SP シートの流れ (教師用)



SP シートの流れ (生徒・保護者用)

(4) SP 実習ノート

実習の目標については、実習のたびに SP 実習シートを活用し、SP 目標シートを元に考え、自己実現に向けて働くための取組に集中した3つの目標を設定します。

目標① 最大の課題（目標）や今回のテーマを記入

目標② 態度面の課題（目標）を記入  
（成長と共に発展し、違う課題になる）

目標③ 技能面の課題（目標）を記入  
（その仕事ならではの目標になることが多い）

( )年 第( )期( ) SP実習シート  
実施日 年 月 日( )

SP目標シートを元に考えましょう。  
自己実現に向けて、働くための取組に集中しましょう。

①実習の最大の目標（働く人になるための目標）

②態度面の目標（成長と共に発展する目標）

③技能の目標（その仕事ならではの目標）

成果

課題

実習の振り返り（今回の実習を通して自分に気づいたこと、感じたこと）

次期の実習の最大の目標

そのために学校生活で何を頑張るか

年 組 番 名前 西濃高等特別支援学校

<目標の例>

例1 1年生介護系の実習

① 実習の最大の目標（働く人になるための目標・テーマ） ・介護の仕事内容を体験したり、見たりして、自分にできそうか考える。	
② 態度面の目標（成長と共に発展する目標） ・職員や利用者の方へ、大きな挨拶や返事をする。	③ 技能の目標（その仕事ならではの目標） ・車椅子の移動時の速度や、利用者さんと話をする時の目線の高さに気をつける。

例2 2年生製造や流通 2回目の企業

① 実習の最大の目標（働く人になるための目標・テーマ） ・腕時計で時間を管理しながら、自分の仕事に見通しをもち、計画的に取り組む。	
② 態度面の目標（成長と共に発展する目標） ・仕事の内容や手順等に迷った時は、すぐに担当者に確認をとる。	③ 技能の目標（その仕事ならではの目標） ・前回の実習で理解したことを生かし、正確性と作業量の両方を意識する。

例3 3年生 入社を意識した実習

実習の最大の目標（働く人になるための目標・テーマ） ・入社を意識して、より多くの社員さんの名前を覚え、積極的にコミュニケーションをとる。	
態度面の目標（成長と共に発展する目標） ・挨拶、返事だけではなく、休憩時間等に、自分から会話をしてみる。	技能の目標（その仕事ならではの目標） ・これまでの実習では、1日の作業量が社員の方の半分程度だったので、70%くらいの数になるよう、作業速度への意識を高める。

セルフプロデュースノート（自己理解）

- ・キャリアや感想等を記入し次回に繋げる
- 今回の職種は適していたか？
- 今後の課題と次回試してみたい職種は？

③ 学校生活（授業・専門コース等）

- ・①や②で出てきた目標や課題に向けた学習を積み上げる。
- ・自己成長を①や②へつなげる。

② 実習ノート

- ・1回ごとのテーマや目標、成果と課題を記入する。